

# 地域保健

5  
2019

●特集

## 新時代「令和」の保健師 8つの論点





イラストレーター・  
スズキトモコ

主なお仕事は、  
絵本、教材、  
旅行ガイドブック、  
広告など。  
雑貨も制作販売中。

<http://www.tomo-com.com>

6

【特集】

## 新時代「令和」の保健師 8つの論点

8 総論	中板育美 (武蔵野大学)
14 〈論点 1〉 キャリアパスとキャリアラダー	山野井尚美 (岡山県保健福祉部)
22 〈論点 2〉 委託事業	真山達志 (同志社大学)
26 〈論点 3〉 地区担当制と業務分担制	村中峯子 (東京医療保健大学大学院)
32 〈論点 4〉 統括保健師	鎌田久美子 (日本看護協会)
36 〈論点 5〉 多職種連携	藤本亜由美 (大津市膳所すこやか相談所)
42 〈論点 6〉 家庭訪問	吉岡京子 (国立保健医療科学院)
46 〈論点 7〉 プレゼンテーション	吉澤みどり (渋谷区福祉部)
51 〈論点 8〉 地域共生社会	藤内修二 (大分県保健福祉部)

② ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 中尾陽子さん (徳島県徳島保健所 健康増進担当)

⑥⑥ ピープル ▶ 岩崎 寛さん (千葉大学大学院 園芸学研究科 准教授)

⑦② レポート1 ▶ 日本保健師連絡協議会

⑦④ レポート2 ▶ これからの地域・職域連携推進の在り方に関する検討会

⑧① レポート3 ▶ 自殺総合対策の推進に関する有識者会議

⑨① 情報BOX

⑨⑥ 次号予告／奥付

### 連載

⑤⑥ [新連載] いのちに向き合う《第1回》／浜垣誠司

⑤⑧ [新連載] 生活習慣を変えるコミュニケーション技術  
《第1回》／磯村 毅

⑥① [新連載] 罪を犯した人の生活と健康支援《第1回》／船山健二

⑥② [新連載] 虐待予防は母子保健から《第1回》／鷲山拓男

⑦① ESSAY 国際保健《第31回》／松田正己

⑧② 保健師のための閑話ケア《第82回》／藤本裕明

⑧⑥ 中臣さんの環境衛生ウォッチング《第67回》／中臣昌広



徳島県のシンボル、眉山（びざん）をバックに

# 中尾陽子さん

なかお・ようこ

● 徳島県徳島保健所 健康増進担当

積極的に地域に出向き、現場の声を拾いたい。そして、いただいた声を事業や県政に生かせるように、仲間と一緒にまい進していきます！



文=白井美樹（ライター） 写真=神保 誠

# 新時代「令和」の保健師



## 8つの論点

元号が変わり、新しい時代が始まった。平成の約30年間は、市町村合併により自治体数が半減した。地域保健法の施行、介護保険や特定健診・保健指導の導入など大きな制度変更もあった。児童虐待、自殺などの社会病理が拡大し、認知症など高齢社会を背景とした問題も大きくなった。

こうした中で、保健師の仕事ぶりも変わってきた。衛生部門以外への配置が進み、業務範囲が拡大した。委託事業も増え、多職種連携の中で仕事をする機会が多くなった。一方、地域住民との関係が希薄になり、業務をこなすことに終始するなど、半世紀以上にわたり継承してきた保健師の仕事の本質がぼやけつつあるのではないかという指摘もある。

特集では、新しい時代の始まりにあたり、保健師に関わる8つの論点を取り上げ、展望を示す。

P 8 総論

◎中板育美 (武蔵野大学)

P14

論点

1

キャリアパスとキャリアラダー

◎山野井尚美 (岡山県保健福祉部)

P22

論点

2

委託事業

◎真山達志 (同志社大学)

P26

論点

3

地区担当制と業務分担制

◎村中峯子 (東京医療保健大学大学院)

P32

論点

4

統括保健師

◎鎌田久美子 (日本看護協会)

P36

論点

5

多職種連携

◎藤本亜由美 (大津市膳所すこやか相談所)

P42

論点

6

家庭訪問

◎吉岡京子 (国立保健医療科学院)

P46

論点

7

プレゼンテーション

◎吉澤みどり (渋谷区福祉部)

P51

論点

8

地域共生社会

◎藤内修二 (大分県保健福祉部)

# 岩崎寛

さん

●千葉大学大学院園芸学専攻科准教授

## 全国に園芸療法の有効性や実践的プログラムを広めてきたパイオニア

まだまだ日本では耳新しい分野である「園芸療法」。簡単にいうと、「園芸植物や自然と関わりを通して、心身の健康の回復をはかる療法」のことである。緑が人に与えるパワーと、地域包括ケアシステムでの活用方法などについてお話を伺った。

●聞き手……白井美樹（ライター）

—岩崎さんが、園芸療法の研究を始められたきっかけは？

岩崎 そもそも私は大学院時代に森林のマツ枯れの研究をしており、昼間は山に入って調査、家に帰れば必死で博士論文を作成するという毎日を送っていました。

そのとき、普通に考えると家で文章を書いている方が体が楽なはずなのに、山できつい斜面を歩いているときのほうがリフレッシュでき、疲れがとれる感じがしたのです。これはなぜなのだろうと思ったのが

きっかけです。

30年くらい前の話ですが、当時はすでに森林浴という言葉はあり、森林散策するとリフレッシュできることは漠然と知られていました。でも、エビデンスがまだなかったもので、これを研究したいと思ったのです。

—卒業後は、まずどのようなことに取り組んだのでしょうか。

岩崎 最初は病院の緑化に取り組みましたが、なかなかうまく進まなかったですね。

いろいろな病院にデータを持っていき、患者さんにいいから、もつと緑を増やした方がいいと説明しても、土には細菌があると敬遠されたり、緑化にお金を使うなら医療器のひとつでも買った方がいいと言われるり、受け入れてもらえませんでした。

そしてやっと辿り着いたのが、緩和ケアの病棟でした。終末期の患者さんのメンタルケアに有用だということで、やっと医師の許可が出たのです。

しかし、この病棟に毎月足を運ぶ中で、新たなことに気づきました。

特集

## 災害時に配慮を要する療養者への支援 ～難病・小慢疾患と医療的ケア児を中心に～

- 災害時の難病支援等における保健活動 奥田博子 (国立保健医療科学院)
- 在宅支援について 山村 修 (福井大学)
- 医療機関が被災した場合の対応 空岡史子 (いわき市こどもみらい部)
- 医療的ケア児  
災害対応ハンドブック 長谷美穂 (兵庫県加古川健康福祉事務所)
- 安全な移送・搬送 大竹しのぶ (練馬区医師会訪問看護ステーション)
- 人工呼吸器等の電源確保 滝口尚子 (仙台西多賀病院)
- ALS患者の搬送訓練から 日本ALS協会
- 災害時に備えるコミュニケーション手段の確保 中野玄三 (ALS当事者)
- 事例1 岡山県 山本実季 (岡山県健康福祉部医薬安全課)
- 事例2 和歌山市 谷井朋子 (和歌山市保健所)
- 事例3 茅ヶ崎市 佐々木萌 (茅ヶ崎市保健所)

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! 吉原大貴さん (松江市健康推進課)

ピープル 横山万里子さん (一般社団法人 HAND STAMP ART PROJECT)

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地域保健  
令和元年 5月号

令和元年5月1日発行/隔月(奇数月)1回1日発行  
発行人 菅 国典  
制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-22  
株式会社 東京法規出版  
振替 00160-1-371595

【購読の申し込み】 TEL 03-5977-0300  
FAX 03-5977-0385  
ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】 TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン=新海妙子  
◎印刷・製本=(株)上野印刷所  
◎編集長=須賀健次  
◎編集員=松岡康子

本誌に掲載された著作物の  
複写・転載等の許諾権は、  
株式会社東京法規出版が保  
有しています。

## バックナンバー紹介

2018年1月号

新春座談会1 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに保健師はどうか」

保健師の関わりを中心に、地域包括ケアの本来のあり方について、精神科医と保健師が意見を交わす。

新春座談会2 「第三期の特定健診・保健指導に備えるPART2 ～アウトソーシングに着目して～」

特定健診・保健指導でアウトソーシングにより効果を出すコツを話し合う。

2018年3月号

特集 「子どもの貧困と健康問題」

生活困窮家庭の子どもは虫歯や肥満など健康への悪影響が出ている。現状報告とともに対策に動き出した自治体の事例などを取り上げる。

2018年5月号

特集 「自殺総合対策を効果的に進めるために～自殺総合対策のポイントと実効性ある展開を目指して～」

自殺対策を効果的なものにするためのポイントと地域自殺対策推進センターの役割、既に自殺対策計画作成に着手している事例などを紹介する。

2018年7月号

特集 「母子保健と虐待予防の一体的な取り組みに向けて

～子育て世代包括支援センターと市区町村子ども家庭総合支援拠点～」

子育て世代包括支援センターと支援拠点の整備状況および、それらの一体的な運営に向けて動き出した先進事例を紹介する。

2018年9月号

特集 「爆走するデータヘルス改革～2020年から始まるデータヘルス時代と保健師の仕事～」

2020年に本格稼働を目指すデータヘルス改革について解説。識者による「鼎談」では同改革が保健師の仕事に与える影響について展望する。

2018年11月号

特集 「高齢化するひきこもり」

ひきこもりの平均年齢は年々上昇している。現状と課題、脱出に向けた各地の取り組み、保健師が担うべき役割についてまとめる。

2019年1月号

特集 「刑務所と地域との連携 保健師は健康課題を担えるか～女子受刑者の問題を中心に～」

刑務所にいる人の多くは、必要な支援につながらず、社会から孤立した人たち。地域に帰ってくる住民に、保健師はどんな支援をすればよいかまとめる。

2019年3月号

特集 「胎児性アルコールスペクトラム障害を防ぐ」

妊婦のアルコール摂取により胎児に影響が出る胎児性アルコールスペクトラム障害（FASD）のわが国における現状と問題点について取り上げる。

特別座談会 「地域保健の未来を拓く」  
—厚生労働省での経験から

出向・研修生という形で厚生労働省で働く、地方自治体の保健師5人が自らの経験と今後の展望について熱く語る。

お申し込みは

(株)東京法規出版 地域保健編集部 FAX: 03-5977-0385

※バックナンバーの価格 (2016年3月号まで) 857円+税+送料151円  
(2016年5月号から) 1,370円+税+送料151円

## 『地域保健』購読のご案内

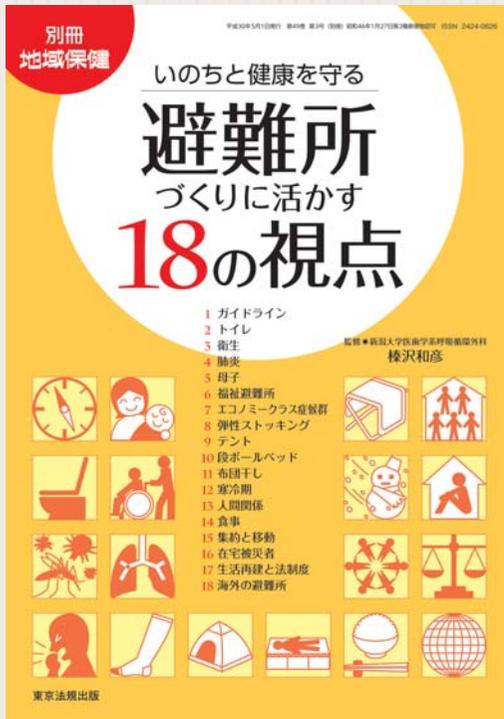
- 年6回、隔月〔奇数月〕1日発行
- B5判、総100頁（本文96頁、表紙4頁）
- 価格 1冊あたり 1,370円+税、送料151円  
年間購読 《公費前納および個人》7,990円（税込、送料弊社負担）  
年間購読 《公費後納》8,878円（税込、送料弊社負担）  
※書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>

災害後も健やかな人生を送るための避難所づくりの要点がわかる！  
避難所運営にかかわる自治体関係者、ボランティア団体、すべての人に役立つ必携本

# いのちと健康を守る 避難所づくりに活かす 18の視点



好評発売中！

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1 ガイドライン      | 10 段ボールベッド  |
| 2 トイレ         | 11 布団干し     |
| 3 衛生          | 12 寒冷期      |
| 4 肺炎          | 13 人間関係     |
| 5 母子          | 14 食事       |
| 6 福祉避難所       | 15 集約と移動    |
| 7 エコノミークラス症候群 | 16 在宅被災者    |
| 8 弾性ストッキング    | 17 生活再建と法制度 |
| 9 テント         | 18 海外の避難所   |

監修：新潟大学医歯学系呼吸循環外科 榎沢和彦

B5判／本文96頁／モノクロ 定価：本体1,500円＋税  
ISSN 2424-0826 第49巻 第3号 (別冊)

災害の巨大化の中で、  
避難所のあり方が厳しく問われている。  
本書は、避難環境の改善と、  
被災者の自立に向けての  
強いメッセージになるに違いない。  
神戸大学名誉教授  
室崎 益輝先生 推薦

- 【執筆者一覧】 (掲載順) 敬称略
- |        |               |            |               |
|--------|---------------|------------|---------------|
| 榎沢 和彦  | 新潟大学          | 浦野 愛       | レスキューストックヤード  |
| 室崎 益輝  | 神戸大学名誉教授      | 根本 昌宏      | 日本赤十字北海道大学    |
| 田村 圭子  | 新潟大学          | 菅原 由美      | 東北大学          |
| 加藤 篤   | 日本トイレ研究所      | 辻 一郎       | 東北大学          |
| 中臣 昌広  | 日本環境衛生センター    | 笠岡 (岡山) 宣代 | 国立健康・栄養研究所    |
| 中久木 康一 | 東京医科歯科大学      | 植田 信策      | 石巻赤十字病院       |
| 吉田 穂波  | 神奈川県保健福祉局     | 山村 修       | 福井大学          |
| 奥田 博子  | 国立保健医療科学院     | 岡本 正       | 銀座パートナーズ法律事務所 |
| 山下 竜一  | 災害用弾性ストッキング協会 | 北川 慶子      | 聖徳大学          |
| 草島 進一  | オープンジャパン      | 塩崎 賢明      | 立命館大学         |
| 水谷 嘉浩  | Jパックス株式会社     | 川村 匡由      | 武蔵野大学名誉教授     |